

エコアクション21 環境経営レポート



令和5年度版(2023/4月～2024/3月)
(2024年8月20日発行)

丸幸自動車工業株式会社



目次

目次	2
1. 組織の概要	3
2. 対象範囲	4
3. 実施体制	4
3-1 責任と権限.....	5
4. 丸幸自動車工業の歩み	6
5. 丸幸自動車工業の業務案内	7
6. 環境経営方針	9
6-1 私達、丸幸自動車工業が求める『企業価値』とは・・・.....	10
7. 環境経営目標と実績.....	12
7-1.今年度(令和5年度)の環境経営目標(4店舗の合計値)	12
7-2 令和5年度の結果比較と次年度目標(4店舗の合計値)	13
8.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取り組み内容	14
9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無.....	17
10. 年間環境活動結果及び R6 年度計画等	18
11.丸幸自動車工業・SDGs	20
12. 代表者による全体評価と見直し.....	21

1. 組織の概要

事業所名	丸幸自動車工業株式会社 代表取締役社長 阿部裕一
所在地	本社扇町店 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町3丁目8-28 ☎022-232-5505(代) 従業員数:34 名 敷地面積:1,674 m² 
	仙台新港店 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区仙台港北1丁目1-5 ☎022-259-8080(代) 従業員数:31 名 敷地面積:4,218 m² 
	幸町店 〒983-0835 宮城県仙台市宮城野区大槻9-7 ☎022-232-5505(代) 従業員数:2 名 敷地面積:172 m² 
	盛岡店 〒028-3603 岩手県紫波郡矢巾町西徳田8-26 ☎019-697-3620(代) 従業員数:18 名 敷地面積:2,232 m² 
	仙台国際空港店 〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷北長沼4(国際空港内) ☎022-786-5181(代) 従業員数:4 名 
環境管理責任者	環境管理責任者:芳賀英夫 EA委員長:野地 哲
事業内容	自動車整備・钣金塗装・新車・中古車販売 カーリース・保険代理店業 http://www.lotat-marukoh.co.jp 創業:1955 年(昭和 30 年 11 月)売上高:12 億 400 万円(令和 6 年 3 月) 資本金:9,000 万円 社員数:89 名

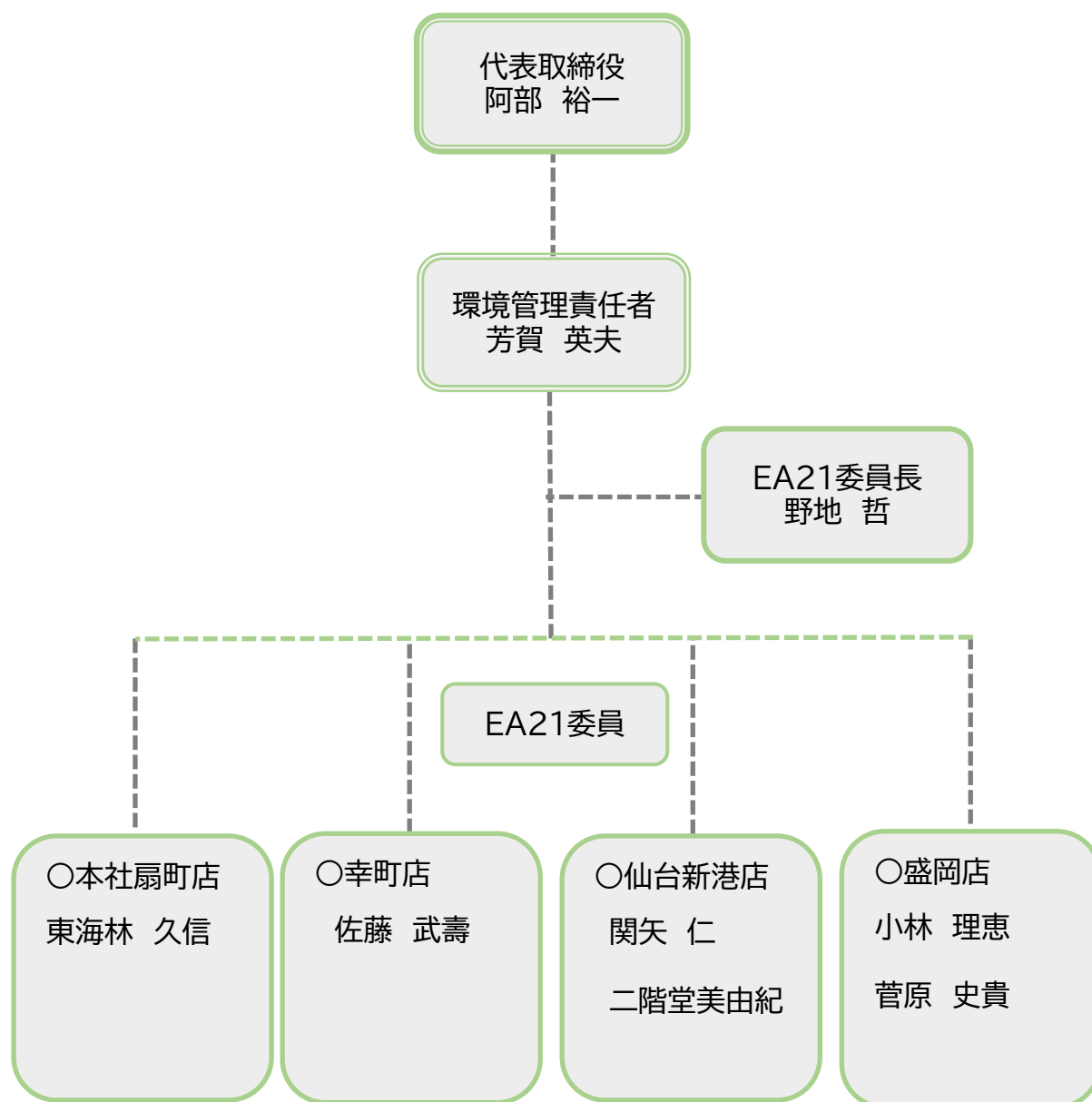
2. 対象範囲

環境経営レポートの対象範囲(=アクション21認証・登録範囲)

対象事業所:丸幸自動車工業株式会社(本社扇町店・仙台新港店・幸町店、盛岡店)

*但し、仙台国際空港店は対象外とする

3. 実施体制



3-1 責任と権限

代表取締役	環境経営方針の策定及び表明
	必要資源の提供
	環境管理責任者の任命
	全体の評価と見直し及び指示
	課題とチャンスの明確化
	実施体制の構築と全従業員への周知
環境管理責任者	当社全店に於ける環境管理システムの確率と実施
	当社全店に於ける環境管理システムの維持管理
	社員教育の実施
	環境経営方針と環境経営目標及び環境経営計画の全従業員への周知
EA委員長	環境管理責任者の補佐
	当社全店に於ける環境活動への支援及び企画提案
EA委員	各店に於ける環境活動に関する責任及び権限
	各店に於ける環境活動の推進
	目標及び計画実施記録を毎月各担当が記入する
EA委員会	会議は3ヶ月に1回以上開催し、環境経営に関する活動報告を行う



4. 丸幸自動車工業の歩み

- 1955年11月 仙台市青葉区梅田町にて創業(丸幸自動車整備工場)
 1962年 4月 法人に改組(有限会社丸幸自動車整備工場)
 1973年11月 現商号(株式会社)に変更(丸幸自動車工業株式会社)
 1975年 3月 盛岡営業所(～現・盛岡店)を新設
 9月 本社を現在地に移転(～小型整備、及び钣金塗装)
 1993年 5月 仙台新港店を新設(～大型整備、及びユニッククレーンの整備)



2004年 4月 環境省エコアクション21の認証取得(本社・扇町店)

《 認証登録番号・0000101 》

- 2006年 1月 保険種別J特級代理店の資格認定を取得
 2009年11月 東北運輸局長より「環境に優しい整備工場」として表彰を受ける
 (～扇町店、仙台新港店、及び盛岡店)
 2011年 3月 東日本大震災により本社(扇町店)及び仙台新港店が大規模被災
 (～ 本社/全壊、新港店/津波(2m)により工場冠水・事務所流失)
 2012年 8月 大震災被災後の社会貢献の一環として、初めてインターンシップ実習生(=5日間の
 職場体験実習)を受け入れ
 (仙台市立仙台工業高等学校 機械科2年生・2名)

2012年12月 エコアクション21の認証を全店(4店舗)で取得

(～本社・扇町店、仙台新港店、幸町店、及び盛岡店)

2015年 1月 幸町店を『福祉車両の店』としてリニューアルオープン

(～ 以後毎年、宮城県内の社会福祉協議会及び各福祉施設を対象に、福祉車両の安全な取扱いの周知を目的に『福祉車両の安全教室』を開催)

2015年12月 エコアクション21の10年以上に亘る活動に対し、本部事務局より表彰を受ける

2018年 9月 インターンシップ生受入れの功績に対し、仙台市教育委員会より表彰を受ける

2020年 3月 「*健康経営優良法人2020」《*経済産業省の「健康経営優良法人認定制度」により
 顕彰される優良法人》の認証を取得

2020年 9月 社内5店舗目として『仙台国際空港店』を開設

(～ 宮城県名取市下増田・仙台国際空港地内、主に空港内にて
 稼働する大型消防自動車、及び大型除雪車等を整備)

2021年12月 盛岡店を全面改築、リニューアルオープン

(～ 大型・小型・ユニッククレーン等特殊車両の整備、
 及び钣金塗装を全て1店舗で実現)

2024年 3月 『健康経営優良法人2024』の認証を取得



5. 丸幸自動車工業の業務案内



車検・各種修理 MAINTENANCE

ご購入後のトラブルにより故障した等、
各種の修理をクイックに対応します。
また車検、6ヶ月、12ヶ月点検といった
法定点検も陸運局指定工場ならではの
丁寧且つ迅速な対応で行っております。



钣金・塗装 REPAIR PAINT

大切なクルマが凹んだり、傷が付いて
しまった際、最新の塗装設備や機材を
用いて元の状態に戻す、钣金作業や塗装を
行います。また、各損害保険会社の
指定工場になっております。



新車・中古車販売、リース SALE

お客様のご希望に沿って、各種のお車を
新車・中古車を問わず販売しております。
また、リース契約やレンタカー事業も営み、
福祉車両においては専門の販売店を設け、
多くの福祉施設等にて愛用頂いております。



ユニッククレーン UNIC

国内シェア約50%のトラック搭載型クレーン
古河ユニック株式会社の指定サービス工場。
整備、修理、年次定期自主検査をはじめ、
搭載型クレーンの架装（取り付け）に
至るまでの幅広い業務に対応致しております。





ボルボ社トラック指定工場 VOLVO TRUCKS

80年以上の歴史を持ち、ヨーロッパ最大のトラックメーカーである同社が掲げる、「品質」「安全性」「環境への配慮」の企業理念を守り、同社の指定工場として、各種の修理や整備等を承っております。



スカニア社トラック指定工場 SCANIA TRUCKS

北欧スウェーデンを本部とする世界的なトラックバス、工業用エンジンのメーカーであり、同社のリジット車や重量物セミトレーラー、特殊用途車に至るまで多種多様な製品を販売から修理、整備等お取り扱いしております。



ユニッククレーン部品センター UNIC PARTS

古河ユニック社の部品デポ店として半世紀にわたり、東北六県内のユニックサービス工場への部品販売や、メーカー及び関係先との部品担当者会議を開催する等、常にグループ各社相互の情報共有を行っております。



保険代理店業 INSURANCE

HGA認定代理店（特設代理店）として、プロの保険募集人10名が適切な保険のコンサルティングに始まり、万が一の事故の対応まで責任を持ってサポート。各種の保険を扱っております。



6. 環境経営方針

丸幸自動車工業は、お客様への「トータル・カーサービスを通してのお役立ち」をモットーに日々の業務に励んでおりますが、そうした中でも、今や世界の潮流となりつつある『SDGs』《＝持続可能な開発目標》の理念と、その理解に基づいた『自然環境の維持向上に役立つ経営』こそが、結果として社会的利益の拡大だけでなく、当社の経営基盤強化にも大いに発展をもたらすものと確信し、以下の諸活動を推進致します。

1.『 省資源・省エネルギー活動の推進 』

環境負荷の低減を目指し、事業活動における電力・水等の資源、化石エネルギーの使用量の削減に努めます。また、社内外においてエコドライブを実践・広報し、CO₂削減を推進します。

2.『 廃棄物の削減・分別処理、及び資源の再利用 』

廃棄物削減を推進し、分別処理を実践すると共に、資源の再利用に努め、ムダを省きます。

3.『 次世代自動車への対応と、技術の向上 』

ハイブリッドカー(HV、及び PHV)や電気自動車(EV)及び低燃費ガソリン車等、環境性能に優れた次世代自動車への、メンテナンス対応技術の向上・練磨に注力します。

また衝突防止装置や自動運転装置など、安全面に配慮した先進技術についても、広く社内外にその教育と研修の場を求め、絶えずお互いを高め合う職場環境を作ります。

4.『 環境関連法規の遵守 』

環境関連の諸法規、とりわけ「水質汚濁防止法」、「消防法」、並びに「廃棄物処理法」等、日常業務に直結する法令をよく理解し、社内周知を徹底すると共に、当社が同意した各種協定等コンプライアンスを遵守します。

5.『 継続的改善の実施 』

作業環境の継続的改善による『E/S(社員満足度)の向上』と、当社の経営理念(=「車を通して、社会へ貢献」)を具現化した『丸幸の「N・H・K」(＝納期・品質・価格)』に基づき、『C/S(お客様満足度)の向上』に継続して取り組みます。

6.『 環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進 』

社内外に対し、自動車に関する環境情報の発信を行い、その啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として、学校教育等への協力活動にも積極的に努めます。

平成15年 9月 1日・制定
令和 4年 11月 1日・最終改訂

丸幸自動車工業株式会社

代表取締役社長 阿 部 裕 一

6-1 私達、丸幸自動車工業が求める『企業価値』とは・・・

(Ⅰ) 地球環境に配慮した経営

- ① 電力、化石エネルギー、排水量等の消費量低減(⇒CO₂の削減と、水質汚濁の防止)
- ② 廃棄物削減と分別処理(⇒有価物処理)
- ③ 中古部品、及びリビルト部品等の再利用

(Ⅱ) 技術力の絶えざる向上と、その伝承

- ① 大型トラック(VOLVO、SCANIA、及び国産各メーカー)のコンピュータ故障診断と整備対応
- ② 車載式クレーン(=ユニッククレーン)の架装技術の錬磨と伝承
- ③ 空港内使用の超大型消防自動車、及び除雪車の整備
- ④ 衝突防止装置等先進技術への対応
- ⑤ 外国メーカー製乗用車等の精密鈑金塗装の施工



(Ⅲ) 『トータルカーサービス』に基づく『お客様満足度』の向上

- ① 『丸幸の N・H・K』の遵守
 - ・N=「納期」を守る
 - ・H=「品質」を守る
 - ・K=「価格《=見積金額以内を厳守》」を守る
- ② 乗用車、トラック、特殊車、福祉車両のサービスと販売、そして、保険対応まで全てを網羅

(IV) 作業設備と環境の改善

- ① 盛岡店工場及び事務所の新築と、作業設備の更新
- ② 『健康経営優良法人』の認証取得と年度毎の更新
～健康診断受診後の再検を含む「個人別保健指導」の完全実施
～「インフルエンザ予防接種」全社一斉実施、など
- ③ 『丸幸新聞』(4半期毎)、及び『健康経営新聞』(毎月)の発行
- ④ 『B.C.P』の作成と、『安否確認訓練』の実施

(V) 地域・社会貢献活動の推進

- ① 中学生、高校生の『インターンシップ』の受け入れ
- ② 福祉車両『安全教室』の推進による、福祉車取扱いの理解と普及
- ③ 宮城運輸支局『街頭検査』等への参加
- ④ 『SDGs と企業経営の関連』についての理解(～丸幸決起大会)

(VI) 経営の安定と発展

- ① 「社会のお役に立ちながら事業の進展をはかる」
(丸幸自動車工業の経営理念)
- ② 財務面(～製造及び知財各資本を含む)の安定と充実
- ③ 純資産(自己資本)比率の拡充



7. 環境経営目標と実績

7-1. 今年度(令和5年度)の環境経営目標(4店舗の合計値)

項 目		単位	R5年度目標	具体的目標値	
環境負荷削減	①二酸化炭素排出量の削減	t/ CO ₂	対前年度比－3%	252	
	電力	Kwh	//		141,805
	ガソリン	m ³	//		45,946
	軽油	ℓ	//		14,347
	灯油	ℓ	//		47,821
	LPG	kg	//		2,106
	②廃棄物排出量の削減	t	//	57	
	③総排水量の削減	m ³	//	2,311	
環境配慮	④「次世代自動車」と「脱カーボン社会」への変化に継続して対応できる技術の研鑽		継続実施と発展	a)各種講習会への参加 b)ゴミ分別の徹底	
	⑤作業環境の改善による『社員満足度の向上』と、接客力向上による『お客様満足度の向上』		//	a)5S 運動の推進 b)共用工具等の更新 c)健康経営新聞の発行	
	⑥環境啓発活動と社会貢献活動の推進		//	a)インターンシップの受入 b)陸運支局街頭検査参加	



7-2 令和5年度の結果比較と次年度目標(4店舗の合計値)

項 目		単位	R4 年度 実績	R5年度実績 (対前年比)		具体的目標値 (R6 年度目標値)
環境負荷削減	①二酸化炭素排出量の削減	t/ CO ₂	259.8	249.9(-3.8%)		対前年比-2% (244.9)
	電力	t	280,062	277,539(-1.0%)		〃 (271,988)
	ガソリン	m ³	20,417	17,229(-15.6%)		〃 (16,884)
	軽油	ℓ	5,733	5,238(-8.6%)		〃 (5,133)
	灯油	ℓ	19,799	20,001(+1.0%)		〃 (19,601)
	LPG	kg	736	620(-15.8)		〃 (608)
	②廃棄物排出量の削減	t	58.8	49.6(-15.6%)		〃 (48.6)
	③総排水量の削減	m ³	2,382	1,905(20.0%)		〃 (1,867)
環境配慮	④「次世代自動車」と「脱カーボン社会」への変化に継続して対応できる技術の研鑽	—	実施済み	a)除雪車メーカー講習受講 b)運輸局指定講習 c)クレーン運転玉掛講習		継続実施と発展
	⑤作業環境の改善による『社員満足度の向上』と、接客力向上による『お客様満足度の向上』	—	〃	a)完成検査場・場外照明の設置 b)インフルエンザ予防接種全社 c)アルコールチェッカー検査		〃
	⑥環境啓発活動と社会貢献活動の推進	—	〃	a)インターンシップ受入実施 b)工場側溝の汚泥処理実施 c)コンプライアンス遵守宣言と社員対応マニュアルの作成		〃



8.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組み内容

①二酸化炭素排出量

環境活動計画	《電気》 ・デマンド装置による監視(扇町店) ・こまめに消灯する(作業エリア以外は消灯) ・エコタイプ設備に変更、クールビズの取組み推進 《LPG》 ・塗装ブースのパネル焼付を複数枚まとめて行う(扇町店) 《ガソリン》 ・エコドライブ ・アイドリングストップ ・社用車の点検	
達成状況		-3.8% (249.9t/CO₂)
評価	(全店舗) ・こまめな消灯、エアコンの温度管理等の節電を継続的に行った。	
次年度の取組	(全店舗) ・各工場の未使用エリアをこまめに消灯する。 (扇町店) ・塗装ブースの整備、フィルター交換、床フィルム交換 ・デマンド装置を新型に入替 (新港店) ・サービスカーをより低燃費の車に代替する	

②廃棄物排出量

環境活動計画	・有価物処理 ・トヨタ車バンパーはトヨタへ(扇町店)	
達成状況		-15.6% (49.6t)
評価	・(扇町店) 廃タイヤ処分前に有価物化する物を確認する。こまめに業者に連絡(季節毎のタイヤ交換時期) ・トヨタバンパーは付属品を外すのが大変だが継続的に行っている。	
次年度の取組	・新たな有価物処理の調査 ・こまめな分別	

③総排水量

環境活動計画	(全店舗) ・こまめな節水
達成状況	 -20.0% (1,905 m³)
評価	(扇町店) ・洗車は水道のシャワーを使用せず、洗車機を多用した。 ・シャワーヘッドを節水型に交換する。 (新港店) ・トイレなどの水量調整
次年度の取組	・2 か月毎の定期チェックに基づき、節水に努める。

④「次世代自動車」と「脱カーボン社会」への変化に継続して対応できる技術の研鑽

環境活動計画	(全店舗) ・各種講習会の参加 検査員講習、整備主任者講習の参加 ・各専門団体への加入 ・教育・訓練の実施、インターシップ受入 ・ゴミ分別の徹底、インターンシップ受入
達成状況	 実施
評価	・定例会議、講習は参加できている
次年度の取組	・継続的に活動する

⑤作業環境の改善による『社員満足度の向上』と、接客力向上による『お客様満足度の向上』

環境活動計画	(扇町店) ・喫煙所、休憩所を設置 ・待合スペースに定期的に雑誌を購入 ・「健康経営新聞」の定期配信 (新港店・盛岡店) ・共用工具を設置、完成検査場の場外照明設置 ・「健康経営新聞」の定期配信
達成状況	 実施
評価	・各店舗がそれぞれ工夫して活動している。
次年度の取組	・継続的に活動する

⑥環境啓発活動と社会貢献活動の推進

環境活動計画	(扇町店) ・インターンシップ受け入れ(仙台市立仙台工業高校) ・会社周辺の清掃 (新港店) ・インターンシップ、デュアルシステム受け入れ(高校生) ・宮城陸運支局の街頭検査協力 ・使用済み切手の寄付、使用済み割り箸のリサイクル回収 (盛岡店) ・インターンシップ受け入れ未実施(矢巾町立矢巾第一中学)
達成状況	 一部未実施
評価	・コロナの影響で活動ができない中、なんとかインターンシップは実施できた
次年度の取組	・来年度も活動を継続する

また、具体的な目標としては掲げていないが、社内教育や社員意識向上、及び情報共有のための施策として、丸幸自動車新聞の発行(年4回)がある。

9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	適用される事項	遵守状況
建築物省エネ法	省エネ計画の届出	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン定期点検 廃棄時の適正処理	○
水質汚濁防止法	特定施設の届け出・変更届	○
下水道法	特定施設の届け出・排水基準の遵守	○
浄化槽法	水質基準の遵守 設置届出・浄化槽の保守点検及び清掃	○
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理義務	○
高圧ガス保安法	高圧ガスの貯蔵等(酸素、アセチレン、窒素) の基準を遵守	○
家電リサイクル法	家電5品目廃棄時の適正な引き渡し・支払い義務	○
建築リサイクル法	対象建設工事(解体工事・新築又は増設工事) の届出	○
自動車リサイクル法	フロン回収業者登録・適正回収	○
消防法	少量危険物の届け出・管理基準の遵守 防火管理者の届け出	○
悪臭防止法	規制基準の遵守	○
PRTR法	特定化学物質の排出量、移動量の届け出	○
宮城県公害防止条例	特定施設の届け出・変更届	○
仙台市下水道条例	排水基準の遵守	○
仙台市廃棄物の減量及び 適正処理等に関する条例	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任届出、 排出量等の報告	○
仙台市火災予防条例	少量危険物の届け出・管理基準の遵守	○

*弊社における環境関連の違反、訴訟等はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去4年間ありませんでした。



10. 年間環境活動結果及び R6 年度計画等

No.	年間活動目標他	現行取組み状況	次年度(6年度)計画等
1	取組の対象組織、及び活動	2012年度より4店舗体制(＝本社扇町店・仙台新港店・幸町店・盛岡店)を維持。但し、活動開始より満20年を経過し社員意識のマンネリ化傾向は否めない。	『健康経営』活動との並行実施により、社員意識の刷新と両活動の相乗的な効果を醸成する。
2	環境経営方針	令和4年11月1日付け制定の『環境経営方針』に基づき、社会貢献活動を含め『環境経営』全体の具体的な拡がりを心掛けている。	別途策定する『課題とチャンス』の取りまとめ』との整合性に留意しつつ、必要に応じ随時見直しを図る。
3	環境負荷、並びに環境への取組状況の把握と評価	「環境負荷の排出量削減」については、『CO ₂ 』『産業廃棄物』『水使用量』いずれもが、目標とする対前年度比▲2%を大幅に超えることができた。社員個々の意識面の変化を実感している。	左記の結果を踏まえ、R6年度に於いても前年同様、 《対前年度比▲2%(4店舗平均)》 を削減目標とした。
4	環境関連法規の取り纏め、及び遵守状況	法令関係については、令和5年度内の改訂は無かった。	令和5年度内に於いて関係行政機関から特段の指摘は無かったことから、6年度に於ける改訂の予定は無い。
5	環境経営目標、及び環境活動計画	環境負荷項目は、全社の前年度実績比が、 《CO₂▲3.8%》、《産業廃棄物排出量▲15.6%》、《総排水量▲21.0%》 と、いずれも大幅な削減努力の成果を示せた。また①技術力向上②社会貢献活動③残業時間圧縮についても、その根本理解が促進されているものと評価している。	左記の結果を踏まえR6年度に於ける『目標』等は下記の通り設定した。①「CO ₂ 」②「廃棄物」③「排水量」の各削減目標は《対前年比▲2%》及び④技術力の継承と向上⑤社会貢献活動の推進⑥残業時間の圧縮
6	実施体制	4店舗毎の各環境委員(2名)を中心とする日常活動。但し、互いの情報共有と活動の進捗確認の為、2ヶ月毎の全体会議の開催を原則とする。	2020年から続く『健康経営』(～2024 優良法人認定)の社内取組みと連動し、労働環境の改善を一体的に促進する。
7	教育・訓練	メーカー主催(～当社が指定工場となっている先)研修会の受講。東北運輸局の検査員講習、福祉車両整備講習、钣金塗装エーミング講習など。	左記受講内容の社内共有をベースに、各職域に応じた『OJT』の繰り返しを基本とする。

8	環境コミュニケーション	各店とも比較的郊外に立地している為、工場周辺からの苦情・要望等は特に確認されないが、事業所内外の定期的な一斉清掃には、それぞれ重点的に注意を払い実施している。	お客様『おもてなし』の一環として扇町店が毎朝夕実施している、「お客様」-ナー及びお客様用トイレ」清掃の全社的な展開を図る。
9	達成の為の実施、及び運用	本社を含む4店舗を、社長以下9名の環境委員でカバーしている。	当該活動の効率性及び迅速性等を考慮し、左記の前年度体制を継続する。
10	緊急事態への準備及び対応	4店舗毎にそれぞれ実施日を定め「避難・防災訓練」(年2回)を実施している。またこれとは別に、社内BCP に基づく『緊急時の社員安否確認システム』の実施訓練も行なっている。	次年度に於いても、精度を上げながら引き続き左記二つの『実施訓練』を行なう。但し訓練実施後、必ずそれに伴う『有効性の検証』を次回以降の実施に繋げるものとする。
11	環境関連文書、及び記録の作成・整理	各店毎、『環境関連法規等一覧兼順守状況チェック表』を個別作成の上、内部状況のチェックを行なっている。	左記文書の作成・チェックと併せ、随時「適用法令の検証」及び「行政上の許認可の確認(期限等)」についても注意を怠らぬようにすること。
12	取組状況の確認、及び問題点の是正	取り組み状況の確認については、定例の環境会議(=原則として2か月に1回開催)に於いて、各担当者から報告の後、管理責任者より対応等指示。	「エコ21の日常活動」、及び「社内外のリスク管理」等の観点から、以下の2点については特に社内への浸透を図ること。 ① 「経営に役立つエコ活動とは何か」という意識 ② 「法令遵守の仕組みが、日常業務の中に一貫しているか」という視点
13	その他	国連 SDGs《=持続可能な開発目標》の基本理念を当社なりに敷衍し、平易な形で日常業務に引き付け、社員への浸透を図っている。	SDGsについては、日常業務に絡めた理解という点で、未だ不十分と言わざるを得ないことから、繰り返し“社内啓蒙”を図って行くこととする。

11.丸幸自動車工業・SDGs



丸幸自動車工業株式会社 SDGs宣言書

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2022年8月2日

丸幸自動車工業株式会社

代表取締役 阿部 裕一

当社のSDGsへの取り組み



全国に広がるロータスクラブのネットワーク全体で「緑の募金」活動を行っています



急発進防止用の後付けブレーキ装置の販売促進を通して、死亡事故ゼロを目指しています



エコアクション21の活動を通してCO2削減に向け、資源ゴミの低減化や、電気、水の使用量を低減すべく、各種の取り組みを積極的に行います



営業、メカニック等の従業員に対し、各種の研修に参加する機会を積極的に与えています



会社は従業員が作るもの。従業員が居なければ会社は成り立ちません。会社が成長していく為に人財は会社経営における重要な要素として捉え、従業員の健康を大切に考え、健全な働きがいの有る職場を提供することが出来る様、健康経営活動に取り組めます



次世代自動車に対応出来る技術力の確保及び向上を全社で取り組みます



地域の福祉、介護施設に対し、福祉車両の正しい使用方法を伝えるための講習を行っています



全社的にリビルト部品、リサイクル部品を積極的に活用しCO2削減に努めています



電気自動車をサービスカーに据える事で、災害時の電源確保を可能とします



全従業員のエコドライブや、地域社会に配慮し、騒音、悪臭、排ガスの排出量低減化に努めています



全社的にリサイクル企業との連携を強化し、CO2削減や地球温暖化防止に努めていきます



丸幸自動車工業株式会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

12. 代表者による全体評価と見直し

かねてより、当社の『環境経営レポート』については、ややもすると単なる「環境負荷レポート」に近い「あまり面白味のない内容」になっていないか、或いは、もう少し「誰にでも読んでもらえるもの」にできないのか、など様々なご意見やご指摘を受けており、本年度はこうした経緯を踏まえ、内容の抜本的な一新を図ったものと思う。

『面白味』に関しては、一概には何とも言えないところではあるが、内容的には、比較的誰にでも眼を通してもらえるような、シンプルな表現の割にはビジュアル的にも、よく当社の訴えたいポイントがまとまって記載されているように感じた。

具体的には、当社の業歴や業務内容に加え、私達が自らの「企業価値」を如何に高めて行くべきかという全社的な認識と、この1年間の環境活動経過、及び『SDGs』との関りなど、改めてよく再整理され、今後社内的にも対外的にも貴重な『コミュニケーション・ツール』として活用できるものと、大いに期待したいと考える。

本年度の『レポート』作成を機に、当社としても益々企業内容の充実に努めて行かなければ、と思うものである。

令和 6 年 8 月 1 日



丸幸自動車工業株式会社

代表取締役 阿部 裕一

お客様と共に歩んだ半世紀以上の歴史と実績

Since

お客様の大切な命を乗せて走る車に安心と安全を

1955

Corporate Profile



 丸幸自動車工業株式会社